

平成 29 年度奈良県がん患者に対する口腔ケア対策支援事業計画書

①がん患者の口腔管理に関わる人材育成

- ・がん診療連携登録歯科医育成のための講習会開催

平成 28 年度までの奈良県内のがん診療連携登録歯科医師数は平成 29 年 3 月末現在 92 名と会員数の約 13%であり、目標としていた 50%には程遠いのが実情である。そこで、登録のために必須である全国共通がん医科歯科連携講習会（DVD 講習）を実施し、多数の歯科医師の受講を実現させ、登録歯科医師を増加させる。

日 時：平成 30 年 1 月～2 月を予定

場 所：奈良県歯科医師会

②県内のがん診療病院へ歯科医師、歯科衛生士の派遣

- ・がん患者への口腔ケア、口腔管理の実施

県内の診療科としての歯科および歯科口腔外科のないがん診療病院に歯科医師、歯科衛生士を派遣し、周術期および化学療法・放射線治療時、緩和医療の各ステージでのがん患者に対する口腔ケア、口腔管理を実施することにより、医療従事者の口腔衛生に対する意識を高めることを目的とし、同時にがん患者の QOL 向上を進める。

平成 29 年度は、奈良県総合医療センターを予定しております。

その理由として、平成 30 年の新病院開設に当たり、歯科口腔外科が開設されるため、周術期等の口腔ケアの効果を実際に病院職員、患者及び県民にアピールする、またとない機会になると思われま。

⇒9/28 病院の周術期センター長下村先生、地域医療連携室担当者と協議し、10 月より事業を同病院で開始する計画としております。同病院で、計画している患者数を消化予定であり、当初予定していた他病院への派遣は見送りました。

- ・事業評価のため、口腔ケアを実施したがん患者に意識調査を実施

上記で実施したがん診療病院のがん患者を対象に、口腔ケアの効果について事後のアンケート調査を実施し、今後の医科歯科連携における問題点を抽出し、より良い連携ができるような仕組みづくりに繋げる。

⇒アンケート内容については、前年度をベースに改変する予定。アンケートの項目についてはほぼ前年通りとするが、アンケートを記入していただく対象者を前年度は、終末期の患者さんが多かったせいか、記入できなかったことが多く、患者自身、あるいは看護担当者に記入していただき、回収率の向上を図ります。

- ・医療関係者への周術期の口腔機能管理の勉強会、啓発

奈良県内の、歯科医師、歯科衛生士、医師、看護師および地域連携に携わる病院関係者等を対象とし、この分野での第一人者である講師を招いて研修会を開催する。

また、これとは別に個々の病院の職員を対象とした歯科医師および歯科衛生士による勉強会を開催する。

日 時：平成 29 年 8 月 20 日（日）午前 10 時～12 時 30 分 ←実施済み

場 所：奈良県歯科医師会館

講 師：静岡県静岡がんセンター歯科口腔外科部長 百合草 健圭志先生

演 題：『がん診療医科歯科連携』と課題

参加者数：62 名

以上により、県下のがん患者に対する医科歯科の連携をさらに強化することを目的とする。